

平成21年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年8月5日

上場会社名 新内外綿株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 3125 URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福井 眞吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 葛原 三治 TEL (06) 4705-3781

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年3月26日 ~ 平成20年6月25日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,633	(12.5)	160	(6.8)	158	(10.3)	91	(16.2)
20年3月期第1四半期	1,866	(27.0)	150	(62.0)	143	(67.6)	79	(59.7)
20年3月期	6,257	-	408	-	364	-	190	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4.70	-
20年3月期第1四半期	4.04	-
20年3月期	9.75	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	4,557	1,997	43.8	102.03
20年3月期第1四半期	4,811	1,832	38.1	93.58
20年3月期	4,443	1,937	43.6	98.97

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第1四半期末
(基準日)	
20年3月期第1四半期	円 銭
21年3月期第1四半期	-

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年3月26日 ~ 平成21年3月25日)

業績予想の見直しは、行っておりません。

4 . その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 無 |

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3 . その他をご覧ください。〕

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の国内経済は、原材料価格高騰に伴うコスト増を主因として企業収益は急速に悪化、2007 年度内は底堅い動きが続いていた個人消費も、物価上昇に伴う実質所得の減少や、消費者心理の悪化を背景として弱含んでおります。

加えて、ユーロ高継続に伴うテンセル原料費の上昇、中国における元高、労務・エネルギーコストアップ等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増してきております。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、「はやいやーん」と名づけた小ロット・多品種・短納期生産販売システムの活用により販売規模の維持に努めましたが、前年同期比では減収となりました。テキスタイル・製品部門におきましても、ニット分野は、国内生産をベースに高品質・高価格品に対応、織物分野でも、中国の出資会社等を活用し事業強化を図り、製品分野におきましても、ミセスブランドに的を絞る販売基盤を構築、販売規模の維持に努めましたが、前年同期比では減収となりました。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 16 億 33 百万円（前年同期比 2 億 32 百万円の減少）となりましたが、利益面におきましては、想定以上の円高効果もあり、営業利益は 1 億 60 百万円（同 10 百万円の増加）、経常利益は 1 億 58 百万円（同 14 百万円の増加）となり、税金費用 66 百万円を計上した結果、当期純利益は 91 百万円となり、前年同期比 12 百万円の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の資産につきましては、前連結会計年度末比 1 億 14 百万円増の 45 億 57 百万円となりました。これは主として売上債権および棚卸資産の増加によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比 53 百万円増の 25 億 59 百万円となりました。これは主として仕入債務の増加によるものです。純資産は前連結会計年度末比 60 百万円増の 19 億 97 百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は 43.8%となりました。また長短借入金に割引手形を含めた有利子負債は前連結会計年度末比 34 百万円増の 6 億 92 百万円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4 . (要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 21 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 20 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	46	72	26		78
受取手形及び売掛金	1,601	1,386	215		1,335
棚卸資産	689	742	53		669
その他	176	77	99		79
貸倒引当金	9	12	3		8
流動資産合計	2,505	2,266	239	9.5	2,155
固定資産					
有形固定資産	2,181	2,181	0		2,186
無形固定資産	0	0			0
投資その他の資産	124	109	14		101
固定資産合計	2,306	2,291	15	0.7	2,288
資産合計	4,811	4,557	254	5.3	4,443
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	1,073	974	98		775
短期借入金	521	412	109		434
未払法人税等	63	69	6		106
未払費用	55	57	2		53
賞与引当金	7	10	3		38
その他	157	80	77		87
流動負債合計	1,877	1,604	273	14.5	1,495
固定負債					
長期借入金	274	113	160		158
退職給付引当金	105	141	36		130
長期未払金	30	9	21		30
再評価に係る繰延税金負債	691	691			691
固定負債合計	1,101	955	146	13.3	1,010
負債合計	2,979	2,559	419	14.1	2,506
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	731	731			731
利益剰余金	91	254	162	177.1	203
自己株式	2	2	0	14.1	2
株主資本合計	821	983	162	19.8	932
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		0	0		0
繰延ヘッジ損益		3	3		5
土地再評価差額金	1,011	1,011			1,011
評価・換算差額等合計	1,011	1,013	2	0.3	1,004
純資産合計	1,832	1,997	165	9.0	1,937
負債、純資産合計	4,811	4,557	254	5.3	4,443

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 21 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 20 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	1,866	1,633	232	12.5	6,257
売上原価	1,534	1,283	251	16.4	5,111
売上総利益	331	350	18	5.7	1,146
販売費及び一般管理費	181	190	8	4.9	738
営業利益	150	160	10	6.8	408
営業外収益	2	7	4	228.9	6
営業外費用	8	9	0	3.5	50
経常利益	143	158	14	10.3	364
特別利益					0
特別損失					26
税金等調整前四半期(当期)純利益	143	158	14	10.3	338
税金費用	64	66	1	2.9	147
四半期(当期)純利益	79	91	12	16.2	190